

2021年11月10日  
札幌駅交流拠点北5西1・西2地区  
市街地再開発準備組合

(仮称) 札幌駅交流拠点北5西1・西2地区第一種市街地再開発事業  
特定業務代行者の選定について

札幌駅交流拠点北5西1・西2地区市街地再開発準備組合では、この度、清水・伊藤・岩田地崎・札建・泰進共同企業体（代表企業：清水建設株式会社）を特定業務代行者として選定しました。

本事業は、北海道新幹線札幌駅開業や2030年の札幌冬季オリンピック・パラリンピック招致を見据え、「世界へつながる“さっぽろ”の新たな顔づくり」としてふさわしい開発の実現を目指しております。今後は、特定業務代行者との協力により、円滑な事業推進とさらなる魅力向上に取り組んでまいります。

### 1. 特定業務代行者について

- ・特定業務代行者とは：  
市街地再開発事業において、保留床（権利者が権利変換によって取得する床以外の部分）の処分について責任を持つとともに、建築等の工事施工を含む事業推進業務の支援・代行を担います
- ・特定業務代行者方式の採用理由：  
本計画建物は全国有数の施設規模を誇り、新幹線駅や既存建物、地下鉄等とも近接するため、計画段階から建設会社のノウハウや高い技術力を有効に活用し、将来にわたって健全に管理運営される良好な施設建築物を目指します。

### 2. 特定業務代行者の選定

第三者機関（一般財団法人都市みらい推進機構）を選定事務局とする事業提案競技方式により、客観的かつ総合的な観点で評価を行い、下記の共同企業体を選定するに至りました。

特定業務代行者：清水・伊藤・岩田地崎・札建・泰進共同企業体

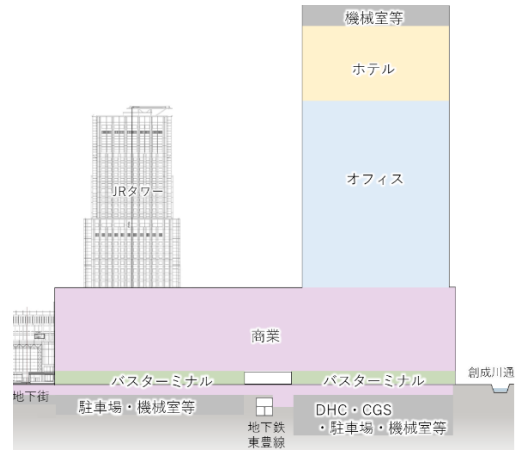
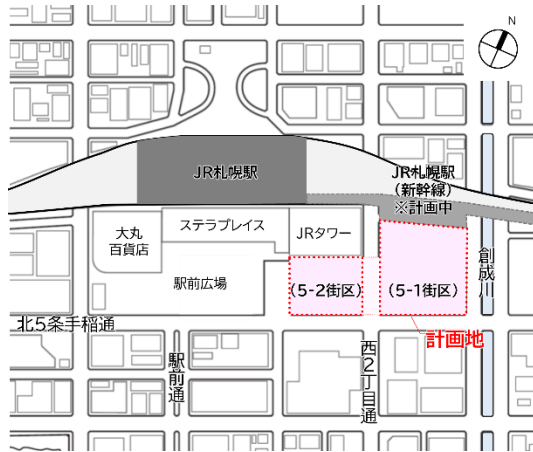
[代表企業] 清水建設株式会社

[構成員] 伊藤組土建株式会社  
岩田地崎建設株式会社  
札建工業株式会社  
株式会社泰進建設

### 3. 特定業務代行者の役割

- ・施設整備のための設計・工事および技術協力
- ・未処分保留床の最終処分責任
- ・その他事業推進支援

## ■ 計画概要



事業主体	札幌駅交流拠点北5西1・西2地区市街地再開発準備組合			
	理事長	札幌市	副市長	吉岡亨
	副理事長	北海道旅客鉄道(株)	取締役副社長	綿貫泰之
	理事	札幌駅総合開発(株)	代表取締役社長	平川敏彦
		ジェイ・アール北海道バス(株)	代表取締役社長	小玉宏文
	JR 北海道ホテルズ(株)	代表取締役社長	白崎力雄	
建築設計	(株)日本設計			
所在地	札幌市中央区北5条西1丁目および西2丁目			
規模等	延床面積 約 395,000㎡ 建物高さ約 250m 地上 46階、地下 4階 ※(参考) JRタワー：建物高さ 173m 地上 38階、地下 4階			
主要用途	商業、業務、宿泊、バスターミナル、駐車場、DHC・CGS			
開業時期	2029年秋(※早期開業検討中)			